

導水路中止決断求める

河村名古屋市長 国交相と面会

木曾川水系連絡導水路(群馬県)の建設中止問題で地元の反発を表明している名古屋市の河村たかし市長は二十四日、国土交通省で前原誠司大臣と就任後初めて面会し、「導水路は不要。造らないでほしい」と事業中止の決断を求めた。

会談は非公開。河村市長によると、前原国交相は「愛知、三重、岐阜三県の話も聴かねばならない。一度勉強させてほしい」と述べ、八ッ場「大臣は予算委員会で

(導水路は)要らないと質問している。議員時代にやってきたことは貫くべきだ」と指摘した。前原国交相は今年二月の衆院予算委員会で導水路事業を取り上げ、「いったん止めて、本当に必要なか(検討すべきだ)」と主張していた。

名古屋単独でも撤退できるが、本体をやめるのは大臣が決める」と政治決断を促した。

終了後、報道陣の取材に応じた河村市長は「八ッ場は予算委員会で

河村市長はこの日、鳩山内閣発足を受けた各省への要望のため上京。午後には長妻昭厚生労働相や千葉景子法相と面会する予定。

国交相に「導水路中止を」

徳山ダム事業

河村名古屋市長が要請

名古屋市の河村たかし市長は24日、国土交通省で前原誠司国交相と会い、徳山ダム損斐郡揖斐川町導水路事業の中止を要請した。

前原氏は「勉強させてほしい。(岐阜、愛知、三重)3県の話も聞かな

いといけない」と述べ、具体的対応については「明言を避けた。」

前原氏は就任後の記者会見で、全国で建設中、または計画段階にある直轄ダムや導水路などの事業を順次見直す考えを表明している。

河村氏は続いて長妻昭厚生労働相と面会。名古屋市長が年金記録問題で独自調査を始めたことについて長妻氏が

「本当にありがたい」と謝意を示したのに対し、河村氏は「私も(対象者に)実際に電話をかけて訪問する」と説明した。

河村氏は平野博文官房長官らとも会い、2009年度補正予算の一部執行停止などが地方財政運営に影響を与えないよう求めた。

木曾川導水路の中止要請

の河村流

前原国交相は明言避ける

厚労相と
年金談議

鳩山内閣発足後初めて、名古屋市の河村たかし市長が24日上京し、中央官庁を精力的に回り、民主党出身の閣僚らに要請や陳情活動を行った。

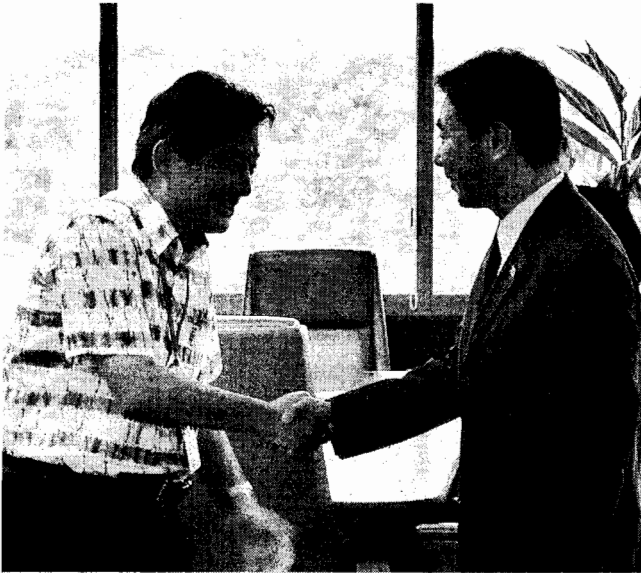
初めに訪れた国土交通省では、前原誠司国交相に、徳山ダム(岐阜県揖斐川町)の水を愛知県、名古屋市の都市用水などに活用する木曾川水系の導水路事業の中止を要請した。河村市長によると、前原国交相は「勉強させてほしい。事業を市と一緒にやっている愛知、岐阜、三重3県の考えを聞く必要がある」と述べるにとどまり、明確な発言を避けたという。公共事業の見直しに積極的とされる前原国交相の発言に河村市長も期待を寄せていたが、肩すかしを食った格好となった。

導水路事業は今年度中に着工予定。河村市長は、水余りを理由に事業からの撤退検討を表明し、今年度分の負担金1億6000万円の支払いを凍結している。

会談で、河村市長は「無駄な公共事業の見直しは民主

党の政策の二丁目一番地。導水路は不要だ」と中止を要請。住民の強い反発が出ているハツ場ダム建設中止と異なる事情として、事業主体の首長の中にも反対があり、未着工であることを指摘し、「民主党にとっても

指摘し、「民主党にとっても



前原国交相に面会する河村市長(左)
(24日、国土交通省で)＝小山内晃撮影

突破口になると強調した。河村市長は厚生労働省も訪ね、長妻昭厚労相と会談した。社会保険庁による消えた年金を巡り、名古屋市長が同庁と連携して近く始める独自調査を紹介。長妻厚労相は「大変にありがたいう話で、全国に広がると良いですね」と感謝していた。

このほか、河村市長は、渡辺周総務副大臣と会って、公約に掲げる市民税減税への協力を要請したほか、千葉景子法相、平野博文官房長官らを訪ねた。

川辺川ダム中止で 地元村長が抗議文

前原国土交通相が建設中止を表明した熊本県の川辺川ダムを巡り、水没予定地を抱える同県五木村の和田拓也村長が24日、国交省を訪れ、中止表明に対する抗

議文を佐藤直良・河川局長に渡した。和田村長は、佐藤局長との意見交換後、記者団に対し、「国の責任で代替案を示し、村の基盤整備や振興策に取り組んでもらわなければ、中止表明には乗れない」と述べた。